

大和高田市地域公共交通活性化協議会 議事録

① 議名	第14回大和高田市地域公共交通活性化協議会
② 催日時	平成30年6月25日(月) 14:00～
③ 開催場所	大和高田市役所4階 合同委員会室
④ 議題	(議事事項) (1) コミュニティバス「きぼう号」の周知について (2) コミュニティバス「きぼう号」の利用状況について (3) 地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書(案)について (4) その他
⑤ 出席委員	別紙
⑥ 事務局	市民部自治振興課 仲田次長・吉井課長・奥係長

協議経過および協議内容	
(事務局)	<p>時間は早いですが、皆様お集まりですので、ただ今から「第14回大和高田市地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。</p> <p>お集まりの皆様におかれましては、ご多用の中、また遠いところお集まりいただき、厚くお礼申し上げます。</p> <p>一部の委員様におかれましては、国への補助申請の関係で同時期に他市町村でも同様の協議会が開催される中、調整いただきご出席賜りましたこと心より感謝申し上げます。</p> <p>また、委員様の交代がありました。</p> <p>誠に失礼ではございますが、時間の都合上、委嘱状を席に置かせていただいております。どうかご了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>さて、前回の第13回の協議会ではアンケート結果を報告した中で皆様に色々なご意見をいただきました。</p> <p>その中で「きぼう号」の第1・第3月曜日運休のPRや停留所の整備等についての報告を本日させていただきますので、委員の皆様からの活発なご意見を頂戴できればと考えております。</p> <p>本日は、どうぞ、よろしく申し上げます。</p> <p>それではまず、本協議会会長の松田副市長よりご挨拶申し上げます。</p>
(会長)	<p>皆さんこんにちは。委員の皆様にはたいへん公務ご多忙の中、大和高田市地域公共交通活性化協議会にご臨席いただきまして、本当にありがとうございます。また役職柄この協議会の委員に新たにいただいた皆様、また引き続き委員として協議会に出席していただいております皆様には、快く引き受けていただきまして本当にあ</p>

協議経過および協議内容

<p>(事務局)</p>	<p>りがとうございます。</p> <p>今事務局の方から説明がございましたように、きぼう号が今3路線3台で運行させてもらってる中で、本日は特にきぼう号の利用者数などの報告をさせていただくようになっております。本市のきぼう号が出発しましたのは、今をさること20年以上前になってくるのですが、平成8年で最初は1台で走っておりました。その後低床バスを導入して2台で公共施設を中心に回っておりましたが、やがて平成25年くらいからこの協議会におきまして新たな公共交通機関のバスネットワークのあり方をどう考えたらいいかということで、この協議会で随分議論していただきました。それを踏まえまして、平成28年4月から3台3路線で現在の姿で巡回をさせていただいておるところでございます。先ほど月曜日の運行についても事務局の報告にあったとおりでございます。そして本日は本年度の地域内フィーダー補助に関わります計画の認定申請についても議案として出させていただいておりますので、皆様にはよろしくご協議いただきまして、本市のきぼう号のため貴重なご意見いただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日は宜しく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>委員及び出席者の紹介につきましては、配布しております委員名簿並びに出席者名簿により代えさせていただきます。</p> <p>なお本日出席予定をされておりました奈良県地域交通課 吉田様が急遽欠席となっております。</p> <p>それでは、まず、議事に入る前にお手元に配布しております資料の確認をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の次第 ・ 協議会出席者名簿 ・ 本協議会の規約 ・ 資料1 コミュニティバス「きぼう号」時刻表と乗り継ぎ案内 ・ 資料2 近鉄大和高田駅コミュニティバス「きぼう号」停留所案内板 ・ 資料3 コミュニティバス「きぼう号」年間調査 ・ 資料4 地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書(案) <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>協議会規約第9条第1項に基づき、会長であります松田副市長より議長の指名することとなっております。会長よろしく申し上げます。</p>
--------------	--

協議経過および協議内容	
(会 長)	<p>それでは、私の方から規約に則って指名をさせていただきたいと思 います。</p> <p>本市市民部長であります吉村部長を議長に指名いたします。 宜しく願いいたします。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございます。それでは、ここからの議事の運営は、当会 議の議長であります、大和高田市市民部 吉村部長にお願いいたし ます。</p>
(議 長)	<p>会長より議長の指名を受けました大和高田市市民部 吉村でござ います。どうか、審議が円滑に進みますようご協力よろしくお願 いいたします。それでは、議事（１）コミュニティバス「きぼう号」 の周知について、事務局より説明願います。</p>
(事務局)	<p>議事（１）について説明</p>
(議 長)	<p>ただいま事務局より、コミュニティバス「きぼう号」の周知につい て、説明がございましたが、何かご意見ご質問等ございませんか？ はい、どうぞ。</p>
(委 員)	<p>片塩振興協議会の西田と申します。（乗り継ぎ例）これは何に使う のですか？使い方を。</p>
(事務局)	<p>使い方ですか？使い方は、きぼう号で無料になる方、それから運賃、 1日の乗車券を…</p>
(事務局)	<p>すみません。事務局のほうで、まずこちらは8月号の広報誌に掲載 させていただこうと思っております。</p>
(委 員)	<p>変更可能ですか？</p>
(事務局)	<p>はい、まだこれからでございますので。</p>
(委 員)	<p>商店街から来ているものですから、交流センターから降りた後、ス ーパーマーケットで買物、これはもう結構です。商店街を入れても らえませんか？片塩を入れてもどちらでもいいですけど。</p>
(事務局)	<p>この乗換え例が盛りだくさんになっておりまして、色んなライフス タイルで、周辺から通院や買物、と。また先ほど申し上げましたよ うに、近鉄高田駅は乗降も多くなっておりますので、利用促進のた</p>

協議経過および協議内容

	<p>め目立つようにさせていただいております。当然きぼう号は、無料となられる方、特にご高齢の方には無料で乗っていただけるようになっております。その中で、1日乗車券が200円であり、1日乗り放題というのも設けておりますので、こういった形で満足していただければと思い、たいへん強行な乗換え例ではございますが、そういった中で色んな形で乗っていただければと思っております。今、西田委員がおっしゃってくださったように、商店街等という形で工夫させていただきたいと思っております。</p>
(委員)	<p>商店街の人間は、あまりこういうのがわかっていない。バスがあそこ（市民交流センター）に停まってもらうのはありがたいと思って喜んでおります。こういう乗り継ぎ例があるのであれば、商店街の中でも周知したいし、アピールしたいので、相談させてもらいながらですけども、少し話はずれますが、商店街としても協力できることがあるのであれば、したいと思っております。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございます。</p>
(会長)	<p>よろしいですか？西田委員さん、ありがとうございます。乗り継ぎ例の市立病院のところで、診察中と書いてありますが、例えば受診やお見舞いなど言葉を整理しておいては？通院や入院される方もいるのだから、受診ではないか？診察中は適切ではない気がする。</p>
(議長)	<p>他に何かございませんか？ よろしいでしょうか。</p>
	<p>それでは次に、議事（2）コミュニティバス「きぼう号」の利用状況について、事務局より説明願います。</p>
(事務局)	<p>議事（2）について説明</p>
(議長)	<p>ただいまの事務局からの説明について、ご意見、ご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。 はい、どうぞ。</p>
(委員)	<p>統計のところなのですが、各路線別の利用者数といえますか、そういったものは取っておられないのですか？</p>
(事務局)	<p>後ほど説明させていただきます資料4の2ページ目をご覧ください。地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書の中に、大きい2番</p>

協議経過および協議内容

	<p>の「地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果」という項目がございます。平成30年度は西部線・内回り1,500人、外回り1,500人、東部線・内回り1,000人、外回り1,000人、南部線・内回り2,100人、外回り2,100人という目標を立てております。実績でお話させていただきますと、東部線に関しましては、目標をクリアーしまして、西部線は内回り外回り各1,200人、南部線は内回り外回り各1,900人という実績になっております。</p>
(委員)	<p>ありがとうございます。こういう形で実績を出しておられれば、今後の路線の検証等にもなると思います。</p>
(議長)	<p>他にはございませんか？</p> <p>それでは次に、議事(3)地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書(案)について、事務局より説明願います。</p>
(事務局)	<p>議事(3)について説明</p>
(事務局)	<p>少し付け加えさせていただきます。2ページのところで、先ほど申しました、(1)事業の目標のところの目標達成に向けて、枠の下のところがございます、時刻表等の配付や停留所標柱の整備等ということで、今回いろんな形で時刻表の関係で改正させていただいて、目標の達成に向けてやっていってるところでございます。</p>
(議長)	<p>ただいまの事務局からの説明について、ご意見、ご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
(委員)	<p>奈良運輸支局です。計画の中で、実は要綱がこの4月で変更になっておりまして、変更点なんですけれども、参考等との連携を取れるようになっておりまして、その際に外客来訪促進計画というのを計画の中に盛り込んでくださいという内容で改正されてるところです。外客来訪促進計画というものですが、まだ大阪のほうで定められているだけで、奈良県では協議会も開かれていないような状況なので、計画の中には入れていただきたいんですけども、該当はないというような記載にはなるんです。また要綱の改正で、計画の中に今言いました項目を加えてくださいという形になっておりますので、これに加えていただきたいというのが1点です。</p> <p>それから、計画(大和高田市生活交通確保維持改善計画)の2番の事業の目標ですが、この計画が31年度の計画ということになりま</p>

協議経過および協議内容

	<p>すので、1つずらしてほしいです。平成31年度、32年度、33年度となります。 この2点が計画の中で変更をお願いしたいところでございます。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございます。</p>
(議長)	<p>他に質問ございませんか。</p>
(会 長)	<p>差し支えなければ。フィーダー補助申請して、承認されたら、行政運営の中に、どれくらいの補助金が、本市の運営に役立てて活かしていただけるのか、そういう話もしてもらわないと、全員がなかなか共有しにくいところがありではないかと思うので、その辺をよろしくをお願いします。</p>
(事務局)	<p>資料4の10ページ目をご覧ください。表5の「地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要」というのがございまして、人口集中地区以外で17,552人とあります。その中で、国庫補助上限額の算定の中に、対象人口が17,552人と書いてあります。算定式は国勢調査で全域の64,817人から人口集中地区の47,265人を引きまして、17,552人で対象人口を出しております。国庫補助の基本算定式で、$17,552 \text{ 人} \times 120 \text{ 円} \times 0.7 + 2,000 \text{ 千円}$、これは国の基本算定式としてこちらに通達があり、計算式を当てはめさせていただきまして、今回は3,474,000円の申請額を国に対して申請させていただこうと考えております。 以上です。</p>
(議 長)	<p>他に質問等ございませんか。 はい、どうぞ。</p>
(委 員)	<p>高田土木の永田です。事務局にではないのですが、さっき運輸支局の方から説明のあった観光の関係の計画ですか？それを位置づけたら、補助率が上がったり、何かあるのですか？</p>
(委 員)	<p>それは、ないです。補助率が上がるのは、再編実施計画などを策定したような場合でしたら、その上限の計算式が変わったりしてくるのですが。</p>
(委 員)	<p>そういのをやっている自治体はあるのですか？</p>
(委 員)	<p>そうですね。少ないですけども。</p>

協議経過および協議内容

(委 員)	ありがとうございます。
(議長)	はい、どうぞ。
(委 員)	人口集中地区以外で 17,552 人となされていますが、市街化区域等どのような分け方で区域を指定しておられるのですか？
(事務局)	統計資料の中から、人口集中地区を引っ張り出しております。これは今手元に資料としてはございませんが。
(委 員)	集落が密集しているというところで、集中地区ということですか？
(事務局)	そうです。これを出すのは、全域から人口集中地区を除いたところ です。それがもっと過疎であれば、補正係数が変わります。
(委 員)	ありがとうございます。
(議 長)	他に何か質問はございませんか。
(事務局)	事務局のほうから、先ほど小西委員からご指摘のありました 2 点に つきましては、盛り込みまして、申請させていただきたいと思っ ております。よろしく申し上げます。
(議 長)	それでは、「地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書（案） について」、ご承認いただきたいと思いますと思いますが、よろしいですか。 (異議なしの声) ご承認いただき、ありがとうございます。次に、議事(4)その他に ついて、事務局より説明申し上げます。
(事務局)	議事（4）について説明
(議長)	ありがとうございました。 それでは、本日提案いたしました全議案につきまして、ご承認いた だき、円滑な議事運営にもご協力、誠にありがとうございました。 委員のみなさま何かありませんか。 はい、どうぞ。

協議経過および協議内容

(委員)

環境建設部部長の杉本と申します。
 この場をお借りいたしまして、申し訳ございません。
 現在、環境建設部都市計画課におきまして、地域公共交通と関連のある大和高田市立地適正化計画を策定しております。
 簡単な説明をさせていただきますので、この場をお借りしますが申し訳ございません。よろしくお願ひします。
 着座にて説明させていただきます。
 配布いたしました資料は、「市内のバス交通網・鉄道利用圏域状況の図面」と「大和高田市立地適正化計画の策定について」という表題のものとの2枚になります。
 皆様はご存じと思いますが、「市内のバス交通網・鉄道利用圏域状況の図面」をご覧ください。
 大和高田市は、市の面積が16.48平方キロメートルという小さな市域の中に、主要駅である近鉄大和高田駅、近鉄高田市駅、JR高田駅の3つが位置しており、主要駅以外の駅や周辺市町村の駅を考慮するとほぼ全ての市域が駅から半径1.5キロメートルの範囲内に含まれております。
 さらにコミュニティバス並びに奈良交通様のバスによりバス路線が、市内全体に行き届いております。この充実した鉄道駅とバス路線のネットワークにより、市民の皆様は、市内の公共施設や医療施設等へ容易に移動できるようになっていると考えております。
 もう一枚の「大和高田市立地適正化計画の策定について」という表題の資料をご覧ください。
 この資料には、都市計画課が進めている立地適正化計画の背景やその目的などについて簡単にまとめております。
 要約させていただきますと、人口減少が急速に進んでいく中で、医療・福祉・商業などの都市機能を都市の中心拠点などに集約し、その拠点同士を公共交通ネットワークとつなぐことで、サービスの生産性と同時に利便性を高め、一定の人口密度を維持し、都市としての持続性を確保していくための計画であります。
 先ほど申し上げましたとおり、大和高田市は既に充実した鉄道駅とバス路線のネットワークが構築されており、都市計画課としては、この充実した公共交通ネットワークを前提に立地適正化計画の策定を進めております。
 大和高田市は、すでに集約化が進み、公共交通も充実しているコンパクトシティになっておりますが、人口減少・人口密度の低下が進んでいく中で、何の施策もとらなければ、コンパクトシティが崩壊してしまうかもしれません。
 そのような事態におちいらないよう、将来にわたってコンパクトシティ大和高田市を維持していけるようなまちづくりの指針となる

協議経過および協議内容

<p>(議長)</p>	<p>立地適正化計画の策定を考えております。 委員の皆様には、大和高田市の公共交通ネットワークの維持、さらには、より一層の充実にご協力をお願いするとともに、大和高田市立地適正化計画の策定にあたり、都市計画課がご意見の聞き取りに伺った際には、ご協力の程、よろしくお願いいたします。 この度の大和高田市地域公共交通活性化協議会には、交通機関に関連する皆様が委員になってくださっていることから、この場をお借りし、発言させていただきました。以上です。 ありがとうございました。</p> <p>他に何かございませんか。 最後に、事務局から何か連絡事項はありませんか。</p> <p>それでは、これを持ちまして、「第14回大和高田市地域公共交通活性化協議会」を終了させていただきます。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>
-------------	--